

## (1) 都心部地区交通戦略の策定について (釧路都心部まちづくり計画との関連)

## (2) 都心部交通の現況について

### 1. 釧路都心部まちづくり計画 (基本構想編) による 目指す都心部の将来像

※平成30年度末に策定済

RINK 釧路

Re: Innovation to Next generation, central Kushiro  
 ~次世代に向けた釧路都心部のRe・Innovation~

ひがし北海道の顔となる「人」が集う、交流と賑わいの拠点、多様なライフスタイルに対応した豊かな暮らしの拠点を形成し、次世代に継承することを目指します。

### 2. 基本構想編による 都心部の将来像を実現するゾーニング

#### ゲートウェイ (ひがし北海道の玄関口)

~人々を呼び込みまちへ送り出す交通結節点と賑わいの拠点~

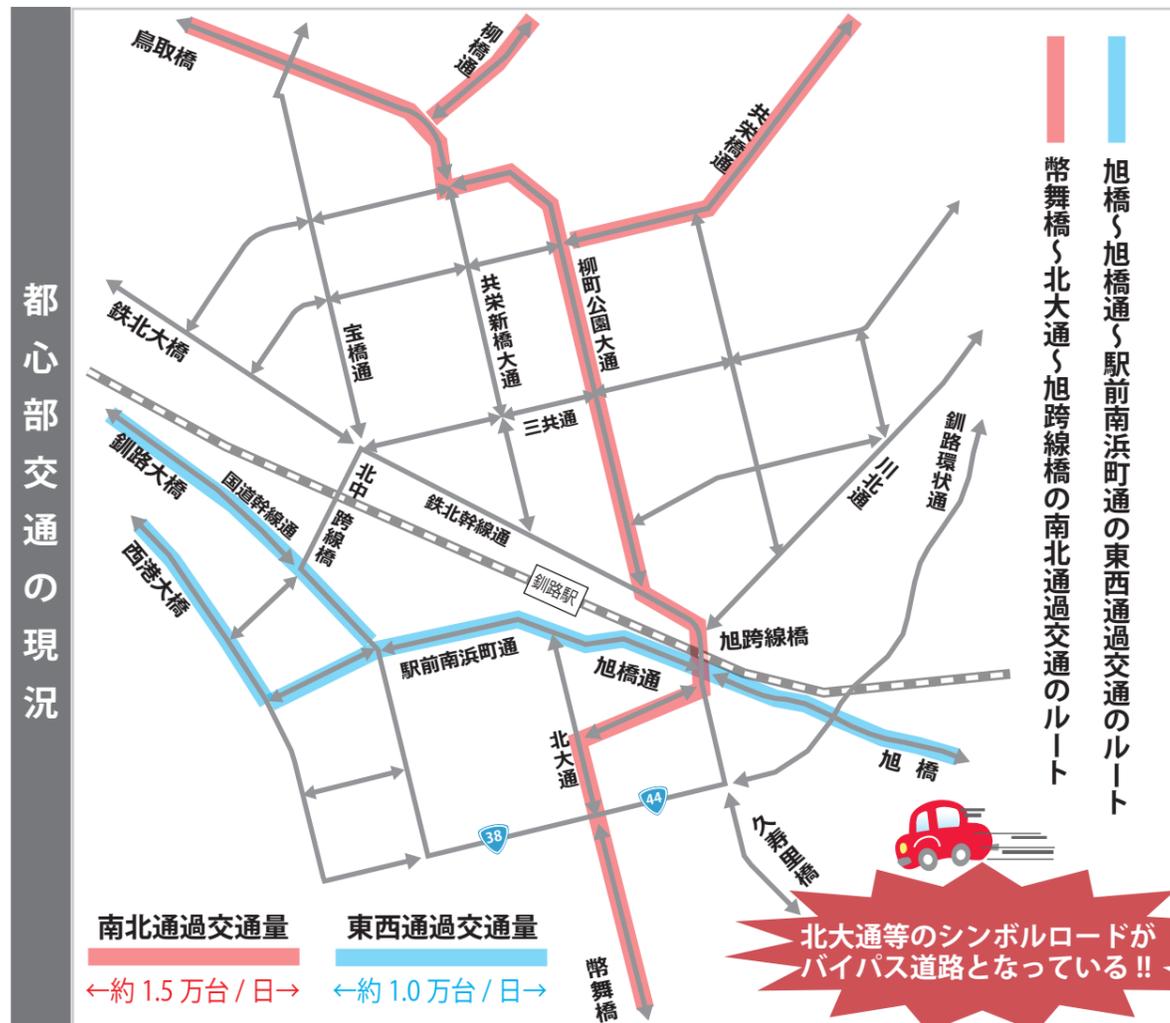
市民や圏域住民、観光客など、様々な目的で都心部を訪れる人々を呼び込み、まちへ送り出す「人が主役」<sup>①</sup>となる賑わいの拠点の形成を目指す。

#### にぎわい交流ゾーン (玄関口とまちをつなぐ軸)

~商業・業務などの賑わい機能が連続し、人々が憩い楽しむ都心部のシンボル軸となる空間~

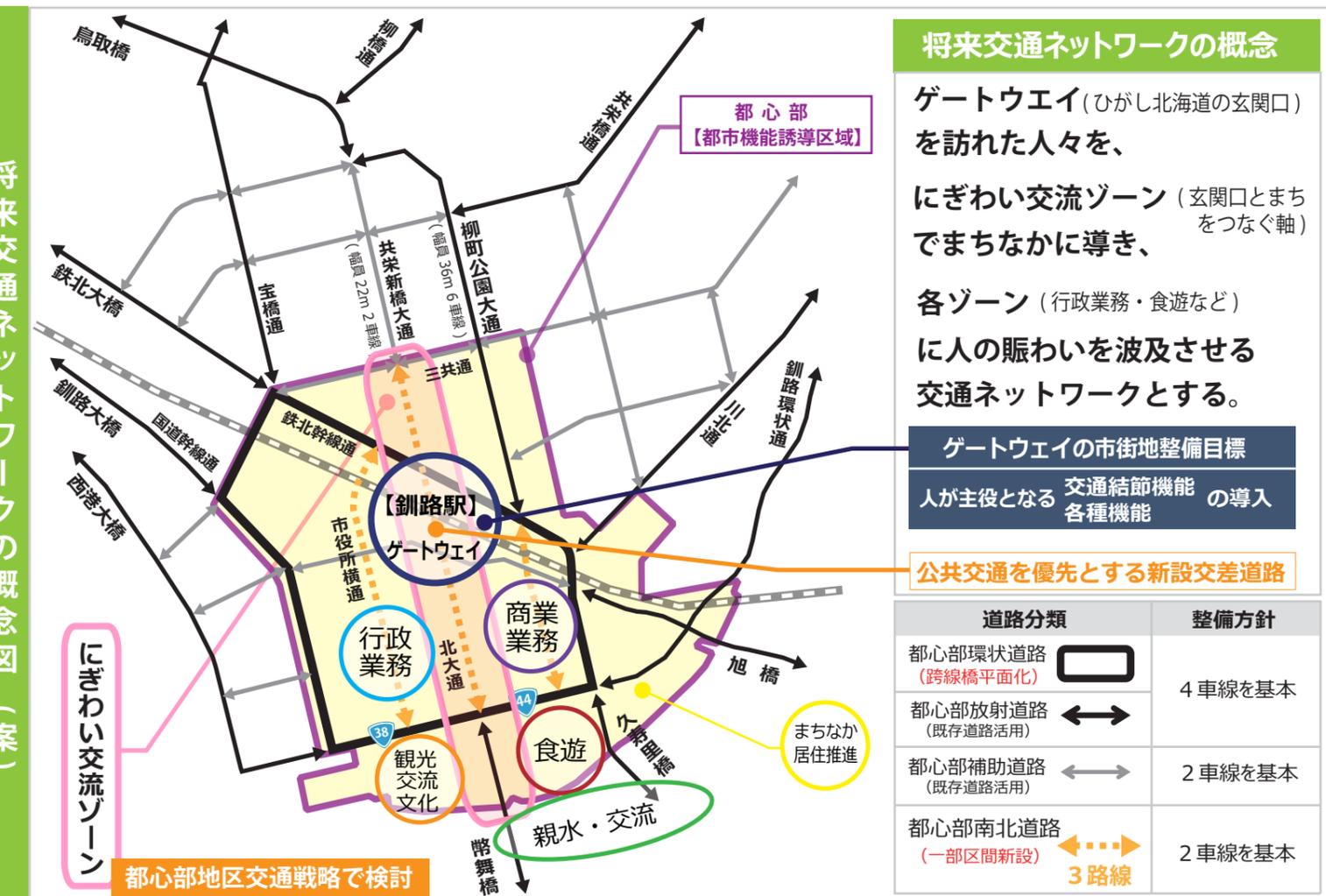
北大通等の沿道を中心としたエリアを、玄関口とまちをつなぐ軸とし、様々な目的を持った人々が憩い楽しむシンボル軸となる空間の形成に向けて、歩行空間の利活用促進<sup>②</sup>に向けた施策等を推進する。

### 3. 都心部の将来像を実現する 鉄道高架化を想定した将来交通ネットワークの概念図 (案)



抜本的な交通網の転換

将来交通ネットワークの概念図 (案)



### 4. 都心部地区交通戦略の策定 (令和2年度末)

都心部地区交通戦略は、まちづくりと交通計画が連携し、総合的かつ戦略的な交通施策の推進を図ることを目的とし、事業構想編に反映させる。

※都心部まちづくり計画 (基本構想編) より

「人が主役」<sup>①</sup>

「歩行空間の利活用促進」<sup>②</sup>

都心部地区交通戦略コンセプト (案)

自動車と緩やかに共存し、人と公共交通を中心とした賑わいの空間へ

にぎわい交流ゾーンの交通機能を RINK 釧路まちづくり交通戦略会議により検討する。

2019~2020年度

釧路都心部まちづくり計画 (事業構想編)

- 1 釧路駅周辺 (ゲートウェイ) の事業構想
  - 鉄道施設検討 (高架化を基本に検討)
  - 都心部及び駅周辺の将来交通ネットワーク検討
  - 地区に導入する拠点機能検討 (土地区画整理エリアの検討)

2 にぎわい交流ゾーン (駅前広場、北大通、共栄新橋大通ほか) にぎわい交流を創出するための交通機能の検討

- 駅前広場の再整備
- 北大通などの道路空間の再整備
- 公共交通関連施設の再整備 (ほか)

反映